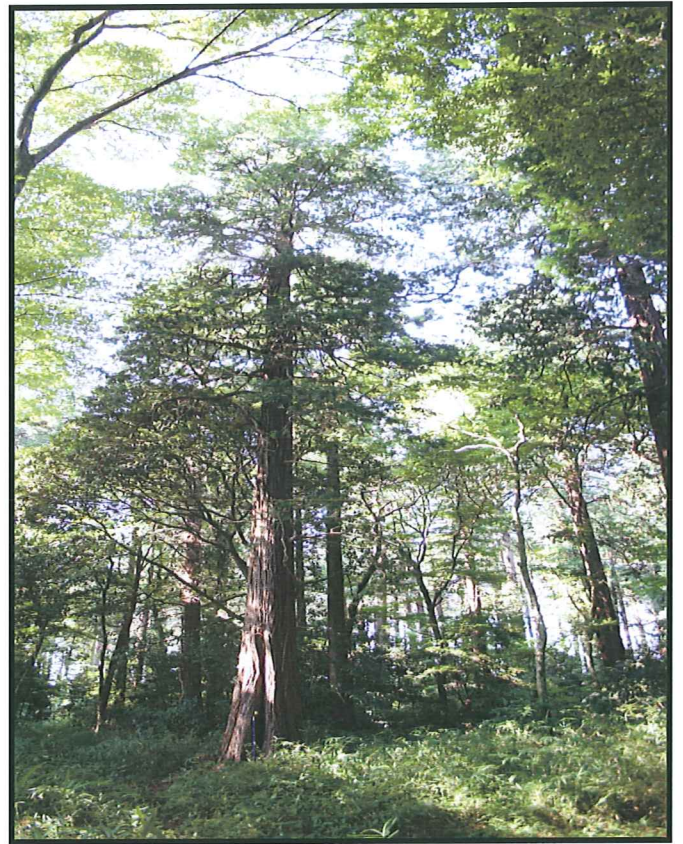


3. サワラ (不動山のサワラ)



直径 1 3 8 c m



樹高 2 9 m

【解説】

現地は、徳川光圀公（水戸黄門）が寛文2年（1662年）に水戸の城下町の上水道用として整備した旧笠原水道の水源地在る。

この場所は、明治30年に水源かん養保安林として指定され、昭和36年に干害防備保安林に変更されている。

このサワラは、森林調査簿によれば明治2年に植栽されたとなっており、旧水道の木樋の材料であり、水を好むこの材を水源林に植栽し、かつ修繕の材料として使ったと云われている。先人たちの考えの深さには感服するばかりである。

約7haの不動山国有林内にはこのサワラ以外にも100cm級のものが散在している。

【所在地】

水戸市笠原町字不動山国有林132い1林小班内

北緯36°21'12" 東経140°27'36" 付近